

# Farming

## ファーミング、 始まります。



漁業というプロフェッショナルな職業とは別に、趣味として“フィッシング（釣り）”があるように、農業にだって趣味のように楽しむものがあっていい—それがファーミングだ。そんな思いから農業をエンターテインメントする「ファーミングプロジェクト」が始まった。

同プロジェクトの発起人の1人のアートディレクターの水谷孝次さんによると、ファーミングには2つの種類があるという。水谷さんは世界的評価の高いアートディレクターでありながら、自分自身で“ファーミング”を実践しその意義をいち早く見出した人だ。それによると、ひとつは都市に生活しながら屋上やベランダでちょっとし

たファーミングを楽しむというもの。もうひとつは郊外の農場や畑に出かけてファーミングするというものだ。郊外型ファーミングは、自然の中で体を動かし、汗を流すから、スポーツやレジャーのような感覚で楽しめる。見方を変えるとファーミングは農業のアマチュアやセミプロを養成する場所でもあるのかも。

行政側からもこうした取り組みにエールが。9月19、20日に開催された「メリー・ファーミング・フェスタ」のトークショーに登場した農林水産大臣官房政策課の末松広行課長は、「ファーミングは日本の農業を見直すいいきっかけになる」とファーミングプロジェクトを評価していた。

ファーミングプロジェクト公式サイト

<http://farming-project.jp/>

Farming事務局（メリープロジェクト、TOKYO HEADLINE、フロンティアインターナショナル、二十一世紀倶楽部）【後援】農林水産省



※お詫びと訂正……本誌前号（vol.428）にて、末松広行氏の肩書きに誤りがありました。正しくは「農林水産大臣官房政策課課長」です。お詫びし、訂正いたします。